Since1962.　広報湯前
あなたとまちをつなぐ情報誌
YUNOMAE
特集　伝統芸能継承活動20年
12
The Monthly
Public Relations
Dec_2024
Vol.522

特集　先代から続く民俗芸能

湯前中学校　文化芸能継承活動20 年

本町には昔から伝わる民俗芸能「球磨（求麻）神楽」「浅鹿野棒踊り」「東方組太鼓踊り」の3つが伝統芸能継承活動として中学生の手で続けられています。20年を迎えたことし、1つの賞を受賞しました。

全員でつかんだ賞

9月3日、湯前中学校が京都コンサートホールで開かれた「古典の日文化基金賞授賞式」に、酒井勇一校長と生徒会長の吉田楽々さん、生徒会役員の中武獅温さんが出席。生徒を代表して出席した吉田さんは「受賞の話を聞いたときは驚きと喜びでいっぱいだった。20年のみなさんの努力や情熱を認めてもらえたことは喜ばしい。授賞式では拍手が会場いっぱいに響き渡るステージに20年間活動に携わった皆さんを代表して、登壇させてもらったことに感謝。賞状を受け取ったとき、自分たちの活動は誇り高いものだと改めて感じた」と話しました。

■古典の日文化基金賞とは

日本の古典文化の研究や普及・啓発活動に大きく貢献した人々を顕彰することを通じ、古典の日の推進に寄与することを目的に創設。「文学・思想」「伝統芸能・音楽」「美術・生活文化」の分野と若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」がある。令和３年に制定されてことしで４回目。県内では初めての受賞となった。

湯前が誇る民俗芸能

球磨（求麻）神楽

熊本県南部の球磨・人吉地域に伝承されている神楽で、古くは室町時代から始まり、江戸時代には領主相良藩の保護を受け、神社の祭礼の節や雨乞ごい・疫病退散など、領内の平和などを願い、郡内の神社で行われた。元は33 番あったが、現在伝承されているのは「三番神楽」「田楽」など17 番のみ。昭和37 年に保存会が結成され、神社単位での奉納から保存会から各神社への出張での奉納に変化した。平成25 年に国指定重要無形民俗文化財に指定される。

浅鹿野棒踊り

棒を持って踊る風流系の民俗芸能である「棒踊り」の一つである。明治38 年ごろに久米思川（多良木町）より習い伝えたと言われ、本町の浅鹿野を中心に踊っている。踊り手は棒４人、鎌２人が一組となり、「道踊り」「鎌倉棒揃」などの演目を踊る。ほかに唄い手や三味線・拍子木・太鼓・笛が加わる。口伝で継承され、踊り手は浅鹿野の長男に限定していたため、浅鹿野の集落内で修練していた。昭和44 年に湯前町無形民俗文化財に指定される。

東方組太鼓踊り

熊本県南部に分布する「臼太鼓踊り」の一つで、馬場地区に伝承されている。明治３年に踊ったのが最古の記録とされている。踊り手は源氏方と平家方に分かれ、総勢14 人で源平合戦を表現。「進軍」「緒戦」「頭の出打ち」などから構成されている。馬場地区の長男にだけ継承されていたため「長男踊り」とも呼ばれていた。地区の人だけでなく、青年団や地区外の人だけでなく、中学生も加わり、踊りが維持されている。昭和44 年に湯前町無形民俗文化財に指定される。

写真は平成19 年の里宮神社秋季例大祭での様子（湯前中学校から提供）

きっかけは野球部員から

湯前中学生が伝統文化継承活動を始めたのは平成15年。神社側の「子どもたちに神社や伝統文化について理解してもらいたい」考えと学校側の「子どもたちが将来誇れる故郷を持てるか」という考えから「伝統文化の継承」という形で合致。野球部員１年生６～７人が球磨神楽をしたのが初めてでした。平成17年に中学校生徒による伝統芸能を学ぶ総合活動が始まる。

１期生として

１期生として球磨神楽に関わった工藤晃介さん（34＝下城）は「最初は野球部１年のときに球磨神楽を始めた。３年のときに始めたのが１期生。当時は学年全員で48人いた。生徒の半分は未経験だったので、覚えることに苦労した生徒もいた。今回の表彰は光栄なこと。学校の授業で続けてもらっていること、先生や保護者の協力に感謝。現在は球磨神楽の指導をしているが、当時習った生徒が指導者として続けていることに20年の重みがある」と振り返りました。

先生や保護者の協力

中学生が伝統芸能継承活動をするにあたり、先生や保護者の協力が必要不可欠である。放課後や夜に練習する日もある。指導者の工藤維春さん（68＝下城）や藤本尚さん（52＝馬場）、澤田郵司さん（68＝浅鹿野）は「先生や保護者からの協力があってこそ伝統芸能継承活動が成り立つ。特に夜間の練習では学校の体育館などを使用したり、保護者の送迎など、20年前と変わらない協力を得ている。皆さんの協力があってこそ生徒の熱意も高まる。生徒が一生懸命踊るので、指導者として教えがいがある。20年間、中学生の活動として伝統が脈々と続いていることがうれしい」と話しています。

文化祭・里宮神社で披露

11月9日には湯前中学校文化祭で、11月15日には里宮神社秋季例大祭で伝統芸能を発表しました。当日は老若男女問わず、生徒の踊りを見学。生徒も練習の成果を発揮して、観客の心をつかむ踊りを披露しました。

発表を終えて、浅鹿野棒踊りの苗床昌幸さん（湯前中3年＝野中田2）は「2年生のときよりうまくできた。中学校生活最後の伝統芸能で仲間と協力していい踊りができた。踊りを20年30年とつなげてほしい」、東方組太鼓踊りで頭を務めた村山匠人（たくと）さん（同3年＝上村）は「演目の途中で太鼓が壊れたけど、みんなで最後まで踊り切れたことがよかった。ずっとしたかった頭（かしら）ができてうれしかった。中学校最後の演目で悔いが残らないように頑張った。後輩には自分の踊り以上の姿を見せてほしい」と話しました。

本年度の活動を終えて、生徒会長の吉田楽々さんに話を聞きました

吉田（よしだ）　楽々（らら）（3年＝野中田1）

最高の宝物

20年の活動を振り返って、「中学生は伝統芸能の技術だけでなく、思いや心構えを学び引き継いでいます。壁にぶつかる悔しさもありましたが、同じ志を持つ仲間と協力して納得できるものになるまで練習を続けてきました。10回ほどの練習だったけど、文化祭や里宮神社秋季例大祭で堂々と披露できたことは一生心に残る最高の宝物になりました。3年間伝統芸能を見てきて、同じ演目でも披露する人で表現の仕方で違う演目に見えるところが伝統芸能の魅力です。難しいけどやりがいがありました」

踊りを終えて

もう終わりなのかという感じです。もっと踊りたい気持ちがあります。鈴を持って四方を向いて舞うので、立ち位置を意識して舞うことや独特の表現が難しかったです。

指導者に教えられたときは熱心に指導してくれました。後継者不足というところから、自分たちがしっかり受け継いでいくべきと感じました。

3年生から引継ぎ

1・2年生や小学生の皆さんには、伝統芸能を守り続けてきた人への感謝の気持ちを忘れず、活動を続けてほしいです。伝統を守り続けながら、自分たちの手で表現して、伝統芸能をよりよいものにしてほしいです。

1_ 中学生の演目を見て感動する小学生 2・3_ 熱い指導 4_ 演目の様子を見守る

子どもたちの憧れ

文化祭の発表見学した小学生。高橋悠人（ゆうと）さん（6年＝上里1）は「浅鹿野棒踊りで武術を踊りに見立てて今も残っていること、東方組太鼓踊りが源平の合戦を現した踊りがすごいと思った。本町に古くから残る文化を受け継いでいきたい」と話しました。小学生の憧れは「東方組太鼓踊り」とのこと。現在は中学2・3年生中心で活動しているが、生徒が減少しているため、将来は中学1年生や小学校5・6年生も一緒に活動する日が来るのかもしれません。

次の世代へ

生徒や保護者、学校の先生、指導者が一体となって続いている伝統芸能継承活動。今後も続けていくには町民の協力が必要不可欠です。本町の伝統文化を後世に残すために、生徒は伝統文化を学び、今日も踊る。

まんが美術館リニューアルオープン

1_ 土足で入館できるようになった館内 2_ まんが美術館の正面には来場者が入りやすいように芝生が敷かれる 3_ 教育委員会の入口をまんが美術館の左側に移設

利用しやすい施設に

ことし6月1日から始まったまんが美術館の大規模改修工事。展示室の拡張や床の全面張替、照明設備の増設・交換など、誰でも利用しやすく、大型の展示やイベントにも対応できる美術館に生まれ変わりました。教育委員会事務室は元々あった図書室に移設。先日オープンした図書交流棟や学習マンガLabo（ラボ）と合わせて、マンガを読む・観る・楽しむことができる複合型施設としての活用を進めています。常設展示室では「那須良輔の世界」展として、那須作品の幅広い魅力を知ることができる展示を開催しています。今後は常設展示はもちろん、イベント展を開催予定。まんが美術館ホームページで最新情報を確認してください。

特別展「夏目友人帳」開催

1_ 2階ではニャンコ先生が出迎える 2_ 1階にはニャンコ先生が封印されていた祠（ほこら）が 3・4_ ファンにはたまらない展示がずらり 5_ メッセージボードにはファンの思いがたくさん 6_ 開館初日に駆けつけた来場者 7_ 一番乗りした和田さん

初日から多くの来場者

11月1日、待ちに待ったリニューアルオープン。特別展「アニメ『夏目友人帳』15周年記念展」も同時開催しました。初日の来場者は78人。遠いところは福島県からの来場者もいました。

初日に一番乗りした和田由美さん（多良木町）は「今回の記念展をネットで知って来た。夏目友人帳のファンになって4年。展示を観ながら、『じゃった！じゃった！』と思い出しながら観ることができた。作品を復習して次回はゆっくり観たい」と特別展の感想を話しました。

11月24日現在、来場者数は3000人を突破。企画展は今月27日まで開催しています。ファンの人だけでなく、どなたでも楽しめる企画展。夏目友人帳の世界を楽しんでみませんか。

年に一度の大交流会

第66回湯前町民体育祭

10月20日、町民グラウンドで第66回湯前町民体育祭を開き、17地区が8種目の競技に出場。約800人が参加して、世代関係なく交流しました。

昨年から競技を絞った今回、綱引き2勝や大縄跳びで18回を記録した下染田地区が総合88点を獲得。平成19年以来の優勝を決めました。

■競技結果

①下染田 88点
②上村 86点
③瀬戸口 76点
④上里3 75点
⑤野中田3 74点
⑥中里1・2 72点

■躍進賞 下城

※前回16位から今回8位

■湯前町体育功労者表彰

石井 愛子(空手)
春日 ひなお(陸上)
村山 健翔(けんと)(陸上)
永田 悠大(ゆうだい)(陸上)
田爪 壱慎(いっしん)(ソフトテニス)

1_ 約800人の入場 2_ 元気よく選手宣誓 3_ 慎重に針をかけて宝をゲット 4_ 優しくバトン渡し 5_ 1500㍍で先頭を引っ張る 6_ 子どもたちの先頭争い 7_ 綱引きにも笑顔が 8_ 華麗なるジャンプ 9_ バトンをもらって気合十分 10_ ボールを入れるのに一苦労 11_ かわいい仮装で和ませる 12_ みんなで仮装 13_ 優勝して喜びを見せる下染田の皆さん 14_ 笑顔で万歳三唱

一年間の成果を発表

第37回湯前町民文化祭

文化芸術の楽しさを

11月3日、湯前町農村環境改善センターで第37回湯前町民文化祭が開かれ、作品展示や芸能発表など、会員の一年間の成果が披露されました。

文化祭は湯前町文化協会（中武典子会長）が主催。開会式で中武会長は「文化祭は1年間の活動を披露する場。展示・ステージ部門ともに、私たちの情熱をお見せできればと思う。文化・芸術のすばらしさや楽しさを皆さんに提供できるように頑張る」とあいさつ。慈琉会のエイサーで幕が開くと、湯前小学校5・6年生の合唱や湯前中生のダンスなど、児童・生徒が会場を盛り上げました。東方組太鼓踊り保存会の「東方組太鼓踊り」や婦人会・青年団の発表があり、文化協会に所属する団体がそれぞれ発表。湯前音頭では参加者全員で歌って踊るなど、会場全体で盛り上がりました。

1_ 会場の看板が参加者を迎える 2_ 太鼓の音で文化祭の幕が開く 3_ 慈琉会のメンバーが会場を盛り上げる 4_ 児童のハーモニーが会場に響く 5_ キレのあるダンスを披露する中学生 6_ 素早い動きを披露したストリートダンス 7_ 婦人会のゆったりとした手遊び 8_ 味のある民謡 9_ 笑顔ではじけた青年団ダンス 10_ みんなで湯前音頭 11_ 迫力ある演技を見せた東方臼太鼓踊り 12_ 美のある太極拳 13・14_ カラオケ・詩吟で熱唱 15・16_ 会場には力作がずらりと並ぶ

10月

人口＝3452人
（男＝1636　女＝1816）

世帯＝1509世帯
※10月31日時点

結婚おめでとう

淵上　譲二（錦町）
的場　梓（浅鹿野）

誕生おめでとう

池島　翼（上村）
鷹志・智美

尾方　応綺（まさき）（下染田）
総視・慧

ご冥福をお祈りします

永畑　梅則（下城）
山中　弘子（野中田２）
川口　春雄（瀬戸口）
下村　孝（上里１）
菖蒲　年枝（福寿荘）
中[illegible]　岩男（下村）
東　勇六（上染田）

香典返し

廣田　光子（野中田１）
山中　虎雄（野中田２）
下村　里子（上里１）
川口　喜久男（瀬戸口）
林田　美恵子（多良木町）

出生祝い金贈呈

稲葉　琴花（ことは）ちゃん　R6.9.26生（上里３）
翔太・和歌（のどか）

メッセージ
すくすく元気に育ってほしいです。

待ちに待った収穫

稲刈り体験

1_ 慎重に刈る 2_ 刈った穂をていねいに運ぶ 3_ コンバインを間近で見て感動する児童たち

　10月25日、上里1区内の田んぼで湯前小学校の稲刈り体験があり、5年生29人が参加しました。

　6月に田植えした苗は立派な稲に成長。黄金色の稲を見た児童たちは大喜びして、今か今かと待ち構えていました。稲刈りの方法を学んだ後、稲を囲むように並び、手刈りで進めていきました。刈った稲を手作業でコンバインに運び、脱穀する様子を見た児童は大喜び。

　稲刈り終了後、JAくま青壮年部湯前支部長の大谷友和さん（43＝野中田1）は「農業はきついことばかりではなく、収穫の楽しみや誰かがおいしく食べてくれるという喜びがある。みんなと一緒に作ることができて私たちも楽しかった」と話し、椎葉一翔（かずと）さん（上里3）は「稲刈りの大変さや楽しさを学んだ。次は収穫祭やもちつきなどで、調理の仕方を学びたい」と話しました。

老人クラブとの交流

花いっぱい交流事業

　10月21日、湯前小学校で花いっぱい交流事業が開かれ、5年生児童29人と老人クラブ会員30人で協力して花を植えました。

　今回植えたのはパンジー・ビオラ・葉牡丹（はぼたん）・ナデシコの4種類。2人1組になってプランターや正門の花壇に植えました。児童はペアの会員に苗の植え方や土の入れ加減を習い、一緒にプランターを運ぶなど交流。作業後は体育館で一緒に給食を食べて、昔のご飯の話や給食の変化の話などで盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

　参加した北御門浩さん（85＝上染田）は「普段子どもと接する機会がなく、今日を楽しみにしていた。幼少期には給食がなく、白ご飯もなかった。今の子どもは幸せだ。次の交流も楽しみ」と話しました。

1_ 協力して苗を植える 2_ 作業後に参加者全員で記念撮影 3_ 作業後の給食をおいしく食べる皆さん

いざというときの訓練

小中学校避難訓練

　11月1日、湯前小・中学校は地震を想定した避難訓練をしました。南海トラフ巨大地震が発生したとき、本町は震度6弱の揺れに襲われることが予想されています。いつ巨大地震が発生しても自分たちで身を守れるよう、毎年訓練をしています。

　訓練のサイレンが鳴ると、児童・生徒は一斉に机の下に隠れて揺れが収まるのを待ち、収まった後は身の回りにある物で頭を守りながら体育館に避難しました。訓練後は、湯前町役場で防災事務を担当している椎葉泰裕さん（45＝田上）が避難について説明。児童らは避難所で使うテントやベッドを見たり、テントの片づけ体験をしました。

　湯前小3年の澁谷魁吏（かいり）さん（下里）は「サイレンが鳴ったときはびっくりしたが、急いで机の下に隠れることができた。避難所の場所が分かったので家族にも伝えて、もしもの時は避難したい」と感想を話しました。

1_ 一斉に机の下に隠れ、身を守る 2_ 頭を守って避難 3_ テントの広さにびっくり

学年の垣根を越えて

湯前中学校文化祭

　11月9日、湯前中学校体育館で文化祭が開かれました。ことしのテーマは『99×個性＝百花繚乱』。全校生徒99人が垣根を越えたグループをつくり、劇・展示・プレゼンテーションの各分野で発表しました。吹奏楽部の演奏で始まり、生徒と先生が曲に合わせて踊り、会場を盛り上げました。プレゼン発表では5つのテーマに沿って発表。展示発表では生徒が表現したいことを壁新聞やモザイクアートなどの作品にしました。劇は進路選択をテーマに本当に生きたいと思う人生が何かを考えるストーリー。それぞれが個性を出した文化祭となりました。

　実行委員長の下村愛子さん（湯前中3年＝下里）は「文化祭が終わった実感が沸かない。3年生の劇では15分間で表現することに苦労したが、成功してよかった。劇が終わった後、先生が泣いていたことに感動した」と話しました。

1_ 吹奏楽部の演奏で会場を沸かせる 2_ 3年生の迫力ある劇 3_ 進路選択で悩むシーン 4_ ゆっくんのモザイクアート 5_ 緊張がほぐれ、生徒全員で笑って記念撮影

クラブ仲間で交流

いきいき運動クラブ大交流会

10月25日、湯前町農村環境改善センターで「第５回いきいき運動クラブ大交流会」を開きました。現在、同クラブは町内に22団体あり、大交流会には91人が参加。DVDでクラブ紹介が流れた後、事例発表では三三クラブ（野中田３）の鎌田利明さん、上中クラブ（上猪・中猪）の永山治実さんが写真を見せながらクラブの取組を紹介しました。

「いきいきチェック大賞」では、半年前と比較して握力や片脚立などが改善された５人を表彰。９項目部門では測定した人の95㌫、５㍍歩行を除いた７項目部門では測定した全員が改善しています。

最後は公立多良木病院企業団の理学療法士、濱田剛さんのアドバイス付きでいきいき百歳体操を実施。ゆっくんも一緒に体操をして、会場を盛り上げました。

1_ 事例発表する鎌田さん 2_ みんなでいきいき百歳体操 3_ 参加者全員で記念撮影

農地を未来へ残すために

「地域計画」策定に向けた話し合い

11月11～28日にかけて、地域農業を守るための話し合いを町内各地で開きました。まちでは、農地を次世代に引き継ぐための「地域計画」と「目標地図」の作成に取り組んでいます。ことし２月、農地所有者にアンケートをとり、将来の意向を確認。７月には各地区で現状や課題などを話し合いました。今回は７月に出た意見を反映して、まちが作成した「地域計画」案と、10年後に誰が耕作しているかを示した「目標地図」の素案について意見交換。机に色分けされた目標地図が広げられると、参加者は耕作する農地と規模縮小する農地を比較しながら、10年後を見据えた農地の在り方について話し合いました。

話し合いに参加した荒川修一さん（55＝上里１）は「現状が把握できたのがよかった。将来どこの農地を誰が使うのか、ほかの農家の田んぼの使用状況など、将来が見える話し合いになった」と話しました。

1_ まちからの説明を聞く参加者 2_ 地図を見てさまざまな意見が飛び交う

植林でまちの森林を育てる

JR九州森商事が森林保全活動に参加

11月16日に町内の協定対象林で、JR九州商事の森ゆのまえ森林保全活動をしました。令和元年に締結した「JR九州商事の森ゆのまえ協定」の２期目第３回目の森林保全活動。JR九州グループの社員や家族など79人が参加しました。

JR九州商事㈱代表取締役の山下信二さんは「今回で６回目を迎える。毎年多くの人に参加してもらっている。高いところでの植林なので、足元に気をつけて、安全第一で取り組んでほしい」とあいさつしました。

当日は雨模様でしたが、参加者は傾斜のある道を登り、0.56㌶の伐採跡地にオビスギの苗木を植林しました。苗を植えるときは鍬を使って穴を掘り、ていねいに苗木を植えて、苗木が倒れないように固定。用意した1400本の苗木をあっという間に植えました。

作業後、参加者は温泉で体を癒したり、SUPを体験するなど、１日を楽しみました。

1_ ドローンを使って記念撮影 2_ 一人でも苗植えできるよ 3_ 親子で協力して穴を掘る 4_ きつい作業でも笑顔がこぼれる

次世代へ思いを引き継ぐ

熊本県畜産共進会で２席に輝く

11月16日、熊本県家畜市場（大津町）で「第43回熊本県畜産共進会」が開かれ、本町からは肉用種牛７部に出品。栗秋和弘さん（68＝上里３）の肉牛「みかん号」が名誉賞２席に輝きました。

同共進会は県家畜の改良促進や畜産経営の安定、自給飼料の増産を推進することを目的に開催。肉用種牛・種馬・飼料作物の３部門で出品され、月齢に応じて体格や品位などを基準に審査されます。栗秋さんは「今回が最後の参加になる思いで準備してきた。日ごろからの手入れはもちろん、宮崎から牛の毛刈りをしてもらうなど、各地から応援をもらった。精いっぱいの努力をしての成績。首席を狙っていたが、上には上がいる。今後も共進会は続くので、若い人たちに引き継いで、グランドチャンピオンを目指してほしい」と話しました。

1_ 審査前の栗秋さん夫婦とみかん号 2_ 厳しい審査を受ける

町政初の無投票

現職９人新人１人当選

湯前町議会議員一般選挙

味岡 恭（75＝下村）
4期目

遠坂 道太（67＝田上）
3期目

吉田 精二（64＝上里３）
2期目

田山 幸平（42＝野中田３）
初当選

西 靖邦（68＝馬場）
2期目

金子 光喜（60＝下染田）
5期目

椎葉 弘樹（55＝野中田１）
4期目

森山 宏（66＝下村）
4期目

倉本 豊（72＝馬場）
5期目

山下 力（76＝植木）
12期目

11月12日、任期満了にともなう町議会議員一般選挙が告示され、10人が立候補。無投票となり、現職9人と新人1人が当選しました。昭和12年に町政施行となり、初の無投票。

11月18日に役場で選挙管理委員会委員長の地内正巳さん（78＝植木）が一人ひとりに当選証書を渡しました。地内委員長は「議員当選おめでとうございます。町民の代弁者として、本町の発展のために議会活動に尽力してください」とあいさつしました。

当選証書を受け取る新議員

History

湯前歴史散歩

城泉寺（浄心寺）保存の歩み⑦

鎌倉時代に建立され、県内最古の木造建築物として知られる城泉寺（浄心寺）。これまで6回にわたって保存の歩みを紹介してきましたが、城泉寺の価値を整理しておきたいと思います。

城泉寺（浄心寺）阿弥陀堂

木造阿弥陀如来及両脇侍像

城泉寺の価値

城泉寺の価値は、何といっても鎌倉時代前期の阿弥陀堂や木造阿弥陀如来及び両脇侍像、九重石塔、七重石塔がセットで残っていることです。脇侍の観音菩薩の台座の心棒には銘文が残り、寛喜元年（1229年）に実明によって製作されたことが分かります。石塔にも銘文が残り、仏像の翌年に沙弥浄心が石塔を建立したことが分かり、浄心が阿弥陀堂を創建したと考えられています。浄心については久米氏説などがあり、不明な部分がありますが、優れた仏像や石塔を造立するだけの力を持った人物がいたということが重要です。

阿弥陀堂の地下からは解体修理のときに人骨の入った骨壺が発見されており、浄心のものと考えられています。阿弥陀堂は浄心の墓と位置付けられていたとも考えられます。

城泉寺の周りには土塁が残っており、敷地全体が浄心の館だったとする説もあります。城泉寺の文化財や遺構は、鎌倉時代のこの地域の様相をさぐる手掛かりとなります。

名称について

城泉寺は、江戸時代までは建立者の名にちなみ「浄心寺」と呼ばれていました。大正2年（1913年）ごろから「城泉寺」と呼ばれるようになったことは「城泉寺（浄心寺）保存の歩み」の第1回にも書きました。「城泉寺」という名称が今では広く浸透しています。旧国宝指定のときに明導寺の飛び地境内に編入されたため、文化財名称として「明導寺阿弥陀堂」も使用されています。一つのお堂に三つの異なる名称が存在するのは、めずらしいです。

歴史的な経緯をみれば、本来の「浄心寺」が最もふさわしいと思われますが、「城泉寺」も広く浸透しているので、急に名称を変更することも難しいところです。しばらくは「城泉寺（浄心寺）」と併記しながら、徐々に本来の「浄心寺」の浸透を図っていきたいと考えています。

城泉寺を未来へ

これまで教育課に残る古い書類などをひもときながら城泉寺保存の歩みを紹介しました。城泉寺が今日まで残されてきたのには、多くの先人たちのまちを挙げての保存に向けた活動がありました。城泉寺を守ってきた人々の思いを受け継ぎながら、城泉寺を未来へ伝えていかなければなりません。

教育課 学芸員 **松村 祥志**

NEWS 1

一度は訪ねてみませんか

まんが美術館リニューアルオープン

11月1日にリニューアルオープンした湯前まんが美術館。県外や海外からも多くの人にお越しいただいています。今月末までは、特別展「アニメ『夏目友人帳』15周年記念展」を開催中。ぜひご来場ください。

特別展はもちろん、湯前まんが美術館は本町の誇る風刺漫画家・画家・随筆家である那須良輔先生の作品を常設展示していることでも知られています。リニューアルにあたり、まんが美術館は常設展示室も一新。床の張替や照明設備の改修など、観覧者にも、展示作品にも優しい空間に生まれ変わりました。現在は「那須良輔の世界」展と題し、風刺漫画や絵本原画・似顔絵など、那須作品の幅広い魅力を知ることができる展示を開催しています。

1_ リニューアルした常設展示室 2_ 展示中の作品「情容赦もあらばこそ（昭和31年8月）」

NEWS 2

県内各地で開催

出前まんが美術館

11月6～29日まで、未来会議室下通店内「未来アートギャラリー」（熊本市）にて、ポップアップ展示「YUNOMAE MANGA STAND」を開きました。本展は、湯前まんが美術館が所蔵する那須良輔先生の作品をはじめとした貴重な資料を館外で展示し、まんが美術館の活動への理解を深めてもらう「出前まんが美術館」の一環として開催。那須作品の複製画14点の展示をはじめ、まんが美術館の展示やイベントを紹介するコーナーも設けて、学生やビジネスパーソンにもまんが美術館の活動を認知してもらえる機会となりました。

翌年1月からは、合志マンガミュージアムにて「那須良輔の漫葉集」展の開催を予定しています。風刺漫画や児童漫画、似顔絵…さまざまな漫画表現を通じて心に残るメッセージを発信し続けた那須作品の魅力に迫る展示です。くわしくはまんが美術館ホームページ、SNSで告知しますので、ぜひチェックしてみてください。

〈場　所〉合志マンガミュージアム（合志市御代志1661番地271）
〈会　期〉1月5～30日 ※月曜日休館。祝日のときは翌日
〈開館時間〉10：00～18：00
〈入館料〉大人・大学生…300円 中学・高校…100円 小学生以下…無料
〈その他〉臨時休館日や入館料免除などは合志マンガミュージアム公式ホームページで確認してください

展示予定作品「中曽根とレーガン」

Pickup

広報湯前 良輔アーカイブ展

現在開催中の展覧会から、那須先生の魅力あふれる作品をピックアップ！

『雪の堂（鎌倉の雪）』

那須先生のことば

鎌倉では十年に一度ぐらい雪が積む。十五年ほど前に春の大雪が降った。翌朝まぶしい朝日の照りはじめるころ、里見弴先生が長靴姿でわが家を訪ねられ、一緒に雪見に行こうと誘ってくださった。いつも自分の庭ばかり見ている私は、鎌倉の雪景色の美しさをその朝つくづく感じ入った。—那須良輔『鎌倉の四季』（六興出版,1983,p.8）

故 **那須 良輔** 先生

NEWS 3

イベント報告

湯前まんが美術館

①レヱル・ロマネスクサミット 聖地めぐりツアーが本町に！

10月26～27日、人吉・球磨地域をモデルとしたアニメ「レヱル・ロマネスク」のファンミーティングイベント「レヱル・ロマネスクサミット2024-2025」が人吉・球磨全域で開かれました。全国から約120人のファンが集まった今回のイベント。アニメに登場する人吉・球磨の風景をめぐるバスツアーやメインキャラクターの声優イベントなどがありました。27日にはくま川鉄道の終着駅である本町で、アニメ原案やシナリオライターなどを務める「進行豹」先生と、中尾章太郎隊員が「クロストーク（対談）」をしました。「レヱル・ロマネスク」と湯前まんが美術館の魅力を相互に深堀りするとともに、那須良輔作品や本町の特産品など、町のPRもできました。

1_ クロストークで会場を沸かせる 2_ 入口にはパネルが設置され、ファンを迎える

②小学校出張ワークショップ

10月27日、深田小学校（あさぎり町）2年生PTA行事で、まんが美術館出張ワークショップを開きました。プログラム内容は「オリジナル缶バッジをつくろう！」。専用のワークシートにオリジナルイラストを描いて、自由に缶バッジを作りました。ワークシートに付属の那須良輔イラストを使って缶バッジを作成した参加者も。たくさんの参加ありがとうございました！

参加した深田小学校2年生の皆さん

ホームページ　X（旧Twitter）　Instagram

▲HP・SNSでまんが美術館の最新情報を発信中。ぜひご覧ください！ **SNSアカウント：@yunomae_manga**

Information

那須先生の作品画像を無料で利用可能！

まんが美術館に収蔵されている那須先生の作品画像を無料で利用できます。利用したいときは申請書を教育課に提出してください。くわしくは教育課に問い合わせるか、まんが美術館ホームページで確認してください

教育課 ☎0966（43）2050

『河童水遊び』

高橋 颯希 隊員

中尾 章太郎 隊員

栄養 冬至にかぼちゃを食べるわけ

冬至（とうじ）とは、一年の中で昼は一番短く、夜は一番長くなる日のことです。昼の時間が短いことから、運気が下がり、体も弱ると考えられ、乗り越えるために幸運を呼びこみ無病息災を願う風習が生まれたと言われています。風習の一つとして、かぼちゃ（別名：なんきん）をはじめ、にんじんやれんこん、かんてんなど、「ん＝運」が重なる食材を食べるようになったそうです。かぼちゃの旬は夏ですが、夏に採ったものを貯蔵しておくことで自然と甘味が増します。体を温めてくれるβ（ベータ）カロテンや風邪をひきにくくしてくれるビタミンCがたっぷりなので、野菜不足になりがちな冬にもってこいの食材です。かぼちゃを使った料理を食べて、冬を過ごしましょう。

Recipi ホクホクかぼちゃと卵のサラダ

【材料】※２人分
かぼちゃ…300㌘　ゆで卵…2個
【調味料】
マヨネーズ…大さじ３ 生クリーム…大さじ１ 粉チーズ…大さじ１
黒こしょう…小さじ1/4 パセリ（生）…適量
※生クリームの代わりに牛乳やヨーグルトでも作れます

【作り方】
①かぼちゃの種とワタを取り除く。パセリを粗みじん切りにする
②ゆで卵を４等分に切る
③かぼちゃを皮付きのまま一口大に切る
④耐熱ボウルに③を入れふんわりとラップをかけ、600Wの電子レンジで火が通るまで約４分加熱し、粗熱を取る
⑤④に②と調味料を加え、味がなじむまであえる
⑥皿に盛り付け、パセリを添えたら完成

栄養士 **熊部 英恵**

環境 違いを知って食品ロスをなくそう

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまった食品のことです。日本では年間472万㌧、国民一人当たり42㌔もの食品が無駄に捨てられています（令和４年度推計値）。無駄なく必要な量を買って食べきることが食品ロス防止になります。

■賞味期限・消費期限に注目！
賞味期限…おいしく食べることができる期限。品質が変わりにくく、期限を過ぎても安全に食べることができる
消費期限…期限を過ぎたら食べない方がいい期限。生ものなど傷みやすいものに表示され、腐敗など安全面が懸念される

◎有害ごみ置き場を衣類コーナーの一角に変更しています
旧有害ごみ置き場へ不燃物が多く放置されています。ルールを守ってゴミを出してください。

10月の一人当たりのごみの量 ※リサイクル品を除く
19.00kg（先月から0.90kg減）

	9月分	10月分	昨年10月分	
燃えるごみ(kg)	65,170	60,130	65,970	－5,840
燃えないごみ(kg)	3,350	2,990	3,860	－870
リサイクル品(kg)	11,060	9,800	11,790	－1,990
粗大ごみ(kg)	520	2,440		
有害ごみ(kg)	10	30		

12月の不燃物収集は
4・18日（第１・3水曜日）です

保健 歯磨きでできる一石三鳥!?健康習慣

クリスマスや年末年始と、つい食べ過ぎてしまうことで体重が増えて、毎年悩む人も多いようです。忙しくても、毎日欠かせない歯磨きの時間にできる、美容にも効く♪健康習慣を紹介します。

■歯磨きダイエット
【方法】食後に歯を磨く
【効果】口の中が爽快となり、脳が「食事が終わった」と認識して、自然と空腹感を抑える。歯磨きの後に飲み食べすると、口の中に苦みを感じたり何度も歯を磨くことが面倒になるので、ダラダラ食べを防ぐ

■高速ぶくぶくうがい
【方法】１秒間に３回、高速で10回ずつ、口の中の前・上・下・左・右ぶくぶくして吐き出す
【効果】水圧で歯や歯茎の汚れを取り、歯周病や口臭予防になる。口まわりの筋トレになり、かむ力や飲み込む力を鍛えたり、ほうれい線や顔のたるみの改善につながる

■歯磨きしながらスクワット
【方法】足を肩幅に広げて、床と太ももが平行になるまでひざを曲げて上半身を下ろす
【効果】太ももの大きな筋肉が鍛えられることで、脂肪燃焼と血行が良くなり、冷え性改善につながる

保健師 **東 和美**

本の世界

中央公民館図書交流棟 ☎0966（43）2050 【平日】8：30～17：00 【土日・祝】9：30～17：00

なぜ働いていると本が読めなくなるのか
三宅 香帆（著）・集英社

「大人になってから読書を楽しめなくなった」「仕事に追われて趣味が楽しめない」などの悩みを抱えている人は多いのではないか。「仕事と趣味が両立できない」という苦しみは、どのように生まれたのか。日本人の「仕事と読書」の変遷をたどる。

私の身体を生きる
西 加奈子（著）など・文藝春秋

17人の人気小説家・美術作家・コラムニスト・漫画家・発明家が自らの「身体」と向き合って記す、生きるためのリレーエッセイ。自分と自分の身体の関係を見つめる言葉が、これまで読んだことのない衝撃と共感をもたらす。

かがみのサーカス
わたなべ ちなつ（著）・福音館書店

鏡台をのぞきこんだ男の子。目の前にサーカスのクラウンが登場。クラウンに誘われて、鏡の中のテントに入ると、クラウンや動物たちが楽しい芸を披露。男の子も飛び入りで芸にチャレンジ。とっておきの大技は…。

いろんなところに かめ わに とかげ
ブリッタ・テッケントラップ（著）・講談社

かめ、わに、とかげはみなは虫類。3億1200万年前からもの大昔からいる生きものだ。目から血をふきだして攻撃するトカゲ、体の色をころころ変えられるカメレオンなど…。生きものの奥深くて不思議な世界を家族で楽しく学べる絵本図鑑。

婦人会だより

11 月10 日に湯前駅内の花壇の除草作業と花植え、福寿荘と福祉センター湯愛で花植えをしました。除草作業では伸びた草を取り除き、花が植えやすい環境に。助走後はビオラやパンジーなどを植えました。春には町内各地できれいな花が咲くでしょう。

ボランティア活動・パン作り体験

10 月13 日、下里地区婦人会でパン作りを体験しました。メロンパンやあんぱん、サツマイモパイなど、旬の素材を使ったパンを作りました。体験後には会員でおいしく食べました。

地域婦人会 会長
苗床 由美

B&G だより

指導者会で艇庫をきれいに

8 月24 日、湯前町B&G 海洋センター指導者会で、海洋クラブの活動拠点である蓑谷ため池艇庫の片づけ作業をしました。令和２年７月豪雨では、艇庫裏を流れる川が増水・越水し、艇庫内に泥水が流入。熊本県B&G 地域海洋センター連絡協議会のボランティア作業で泥の除去や整理整頓をしましたが、台風の影響で再び泥が溜まり、壊れた備品などもそのままになっていました。

カヌーやライフジャケットなど汚れているものを水で洗い、整理整頓をして不要なものを処分し、最後に艇庫の床の汚れを水で流しますが、これが大変。砂のように細かい泥は床にこびりついてなかなか取れず、ブラシや水切りで何度もこすってかき出しました。艇庫内は広くきれいになり、安心してカヌーなどを取り出せるようになりました。次年度の海洋クラブ・指導者会活動が待ち遠しいです。

1_ 掃除の準備 2_ ホースで水を流し、泥汚れを落とす 3_ ため池の水で備品の汚れを落とす 4_ きれいになり、使いやすい艇庫に

B&G 海洋センター **安井 佳奈**

つなぐゆのまえ ―人権のひろば―

▼第76回人権週間

人権週間を「人権習慣」に…

国際連合は、昭和23年(1948年)12月10日、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」を採択しました。基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日を、「人権デー」と定めました。

日本では、人権デーを最終日とする1週間(12月４～10日)を「人権週間」と定め、各関係機関や団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を強化しています。

過去に紹介してきたように、今でも水俣病をめぐる人権や部落差別(同和問題)、インターネット上における誹謗中傷、いじめや虐待、外国人や障がいのある人、ハンセン病元患者や家族に対する偏見・差別をはじめ、さまざまな人権問題が存在しています。

人権問題を解決し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権にも配慮した行動を取ることが大切です。

今一度、人権について考えてみましょう。人権とは、毎日のなにげない瞬間にもあふれているものです。生まれたときから誰もが平等に持つ、かけがえのない命をもっと大切にし、すべての人を幸せにするためには、人権尊重が特別なことではなく、あたりまえの社会にしなければなりません。

私たち一人ひとりが人権週間を『人権習慣』にしていきましょう！

人権週間
12月4日～10日

地域人権教育指導員
窪田 龍記

人権啓発動画

知事と語ろう

お出かけ知事室 本町開催

木村敬熊本県知事は、県民の皆さんの意見を直接聴いて県政につながるために「お出かけ知事室～ともに未来を語る会～」と題して、各市町村を訪問しています。知事に質問をしたい人は左のQRコードから申し込みが必要です。

※傍聴のみの人は申し込みは必要ありません

◎日時
令和7年1月13日(月)
午後2～4時

◎場所
湯前町保健センター

◎申込締切
12月13日午後5時まで

木村敬熊本県知事

申込用

町民憲章

Town's People Charter

一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。

12 月の表紙

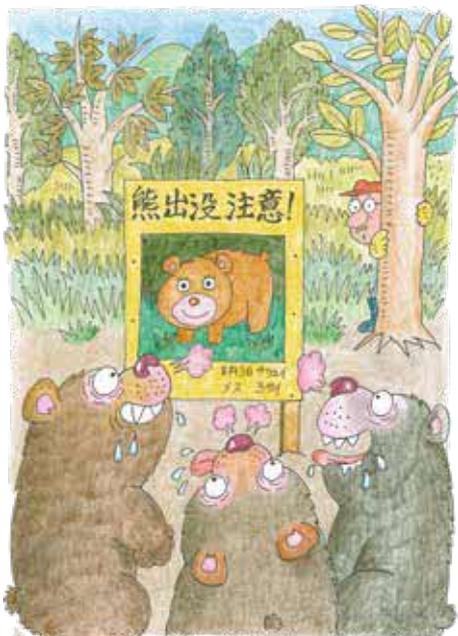
伝統芸能継承活動20 年

湯前中学校の伝統芸能継承活動はことしで20年。里宮神社秋季例大祭で披露しました。生徒が熱心に踊る姿は地域の人だけでなく、子どもたちにも感動を与えました。

撮影場所 市房山神宮 里宮神社

YUNOMAE
Since1962. 広報湯前
12 Dec 2024
Vol.522
令和6年11月30日発行第522号
編集・発行／湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL:0966(43)4111 HP:https://www.town.yunomae.lg.jp/ 印刷/(有)ソーゴーグラフィックス

640点の作品から選出

第33回那須良輔風刺漫画大賞

〈一般部門〉那須良輔大賞

『アイドルのポスター？』

審査員コメント ※原文ママ

「実物写真」で怖い看板を作ったつもりが、クマから見ると「超美形のクマ」だったために余計「出没」することになっちゃった…視点をクマ側に置いたおもしろい漫画です。

〈中学生部門〉那須良輔大賞

『巨大地震が起きて、世界がくっついちゃった』

審査員コメント ※原文ママ

この作品のスゴイところは、2コマ目です！「世界がくっついた」と、口では簡単に言えますが、表現するのは大変。それをサラリとやってのけて見事です。

〈小学生部門〉湯前町長賞

『冬に備えて準備』

審査員コメント ※原文ママ

ドローンが荷物を届けるのは実用化されていますが、サンタさんもドローンの練習を始めたというかわいい漫画。半袖に半ズボン、花火もていねいに描かれていて夏の感じも出ています。

11月15日に「第33回那須良輔風刺漫画大賞」の授賞作品を発表しました。一般の部では伊藤文人さん（神奈川県）の『アイドルのポスター？』が、中学生の部では藤本結衣さん（あさぎり町）の『巨大地震が起きて、世界がくっついちゃった！』が那須良輔大賞に選出。小学生以下の部では海部夏帆さん（神奈川県）の『冬に備えて練習中』が湯前町長賞に輝きました。

今回の応募総数はデジタル作品の募集を始めたことも影響して640点（前年度から約145パーセント増）。「物価高騰」「猛暑」「スマホ依存」「新紙幣」などがテーマの作品が多く見られました。10月23日に神奈川県鎌倉市で、漫画家の種村国夫さん、二階堂正宏さん、前川しんすけさんが全作品を審査。右記以外にも佳作・肥後もっこす賞・マスコミ賞・特産品賞を選出しました。

UD FONT by MORISAWA
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ゆのまえ

心豊かで、活力があり、未来を創造する町

町章

町の鳥「メジロ」

町の花「ツツジ」

町の木「ヒノキ」

町ホームページ

町公式LINE

町公式instagram